

歯科における内科学特論（橋本 達夫）

Advanced Course of Internal Medicine in Dentistry（Tatsuo Hashimoto）

キーワード

①全身管理医歯学 ②内科学 ③医療倫理・医療安全

関連する学位授与方針
DP(ディプロマポリシー)

関連する教育実施方針
CP(カリキュラムポリシー)

授業概要

歯科において安全な医療を提供するために必要な、内科的アプローチの教授法を学修する。

授業科目の学修目標

歯科において遭遇する主要な疾患について、症候学・診断学との関連を含めて次世代を教育できることを学修目標とする。

授業計画

- ①内科学特論:高血圧、糖尿病、脳心血管病、骨粗しょう症、呼吸器疾患について教授法を学修する。10コマ 橋本達夫
- ②症候学・診断学特論:発熱、高血圧、浮腫といった主要な症候と疾患の関連について教授法を学修する。10コマ 橋本達夫
- ③医療倫理・医療安全(Safety-II)特論:10コマ 橋本達夫

教科書および参考書

歯科のための内科学(改訂第4版) 西田次郎 他編 南江堂

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

仮説演繹法などの臨床推論の思考過程および、人材育成のための教育学。

大学院生が達成すべき行動目標

歯科で遭遇する主要な症候と、その疾患について教授できる。
医療倫理・医療安全(Safety-II)について、その成り立ちと現状について教授できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
成果発表70%、口頭試問30%	%	%	%	%	%	%

評価の要点

可能な限り学会等での症例発表を行う。口頭試問は、講義時に行う。

理想的な達成レベルの目安

内科的素養を持った次世代の人材を育成できる。